

『保護者・地域が魅力・活力・信頼を実感する、子供のために協働する学校』

- 教育課程を保護者・地域に見える化
  - ・教育課程の概要（グランドデザイン）を保護者会や配布物等で説明・お伝えし、共有を進めます。
  - ・保護者への学校公開と分けて、地域の方を対象とした学校公開を行います。
  - ・各町会の回覧板を活用させていただき、学校の取組を学校だよりで広報します。
- 地域の人的・物的資源の教育活動への活用・交流
  - ・生活科や総合的な学習の時間において、地域を活用、交流を図る実践を充実させます。
  - ・クリーン運動を地域との関わりを深める取組として11月と12月に実施します。
  - ・保護者・地域の方に、地域を活動の場とした校外学習において、協働をお願いしていきます。
  - ・開校90周年前年度をとらえ、地域の方から子供が話を伺う機会を年間3回設定する。
- 幼稚園・保育園との連携
  - ・1, 2年生活科、6年総合において交流活動を進めます。
- 学校評価による教育の更新・改善
  - ・4月に学校教育アンケートの項目をお伝えし、学校の取組を見守っていただきます。
  - ・土曜公開授業や学校行事のアンケートを参考にして、適切に改善につなげます。

社会に開かれた  
教育課程による  
学校と社会との  
連携・協働

『教職員が力を発揮できる学校』

- 優れた実践を教職員一人の「個人芸」から、開三小教職員の「標準装備」に
  - ・『思いや願い・課題をもち、探究する学習』に向けた授業研究を中心とする研究・研修を行います。
  - 9月15日：練馬区教育委員会 教育課題研究指定校 研究発表
  - ・教員が相互授業参観を行い、学び合い、意見交換をして、授業力を磨きます。
  - ・子供を褒める技を、磨き、学び合います。
  - ・年間一人1回以上、計画的に他校の研究発表会に参加し、研究実践を学び、自己改革に努めます。
- 子供と向き合う時間と授業研究の時間の確保のための働き方改革
  - ・年間教育活動計画、伝統行事、中心行事、週の計画等を見直します。
  - ・教員の時間外在校時間を法令に基づき、月45時間以内、年間360時間以内となる環境のもと、健康維持を図り、120%の愛情と熱意で接することができるようにします。
  - ・子供の下校後は、保護者との連絡最終時刻を設定して実施の協力を求め、充実した学習指導等の準備時間の確保につなげます。

学校教育目標 (2030年・40年代の社会を見据え)

- 【基底】誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手となる子供
- 学びを深める子供
  - 思いやりのある子供
  - 健康な子供

カリキュラム・マネジメント  
による教育活動の質の向上

- カリキュラム・マネジメントとは
- ①教育の目標実現に向けた教科等横断的組立
  - ②教育の実施状況を評価・改善
  - ③教育に必要な人材やものの確保と改善

『自分事となる子供を育てる教育・指導をする学校』

- 子供のよさを発見・褒める意図的・計画的・継続的・組織的な関わり
  - ・学校・学年・学級で、自己や友達のよさに気付く取組を実施します。
  - ・教師が率先して子供のよさを積極的に褒めます。→『よいところみつけ名人』
  - ・善の姿を言葉にして伝え、行動で見られたことを褒めます。
  - ・子供のよさは全教職員が共有し、多くの大人が褒めていきます。
- 「わかる・できる・つかう・つくりだす」学習指導
  - ・授業過程5則（めあて提示・自力解決・グループ協議等・振り返り・まとめ）を基本スタイルとして、思考力・判断力・表現力を育てる授業を進めます。
  - ・学習活動後に振り返りを熟考して文章で書くことを重視し、自分のよさ、学びの価値、次への課題等に気付くようにします。→『学習の振り返り名人』
  - ・生活科・総合的な学習の時間を核として、探究的な学びを授業で重視します。
  - ・探究を通して、生きてはたらく知識・技能が身に付く授業を進めます。
  - ・ICT機器やタブレットPC効果的に活用して、分かりやすい楽しい授業を進めます。

未来社会を創るのは、目の前の子供。  
誇りと自信をもって、自分事となる子供を育てる。

- 「所属感・存在感・充実感・自己肯定感、共感力を育てる」生活指導
  - ・みんなの子供をみんなで育てる指導を基本に進めます。
  - ・「開三小の学校のきまり」を基に指導します。→『あいさつ名人』
  - ・三つの「あ」（あいさつ、あつまり、あるきかた）を重点に指導します。
  - ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けて、週1回の生活指導ミーティング等で情報交換、対応策を考え、実行します。
  - ・縦割り班活動や集団活動など、余白を大切に、自他共に認める力がつく学年に応じた役割を考え果たす加減の教育を進めます。
- 「楽しく、高まる」体育・健康指導
  - ・長縄キャンペーン、マラソン旬間を行います。
  - ・校庭、体育館や屋上を利用して、運動遊びを奨励します。
  - ・「保健室クイズ」「献立ひとくちメモ」などで、健康への関心をもたせます。
  - ・委員会活動を通して、子供たちの主体的な取組を進めます。
  - ・With コロナを意識する・健康安全を守る環境や指導を進めます。

11月の学校教育アンケート項目

『自分事となる子供を育てる教育・指導をする学校』

- ① 教師は、子供たちが誇りと自信をもつことができる指導を進めている。
- ② 教師は、子供たちの基本的な規律の定着を目指して指導している。
- ③ 教師は、わかる・できる学習指導を進めている。
- ④ 子供たちは、分かったこと、できたことを使って、自ら学ぼうとしている。
- ⑤ 子供たちは、自己や他人のよさに気付いている。
- ⑥ 子供たちは、自信をもって学習・生活しようとしている。
- ⑦ 子供たちの体力に向上・改善が見られる。
- ⑧ 子供が書いた『振り返り』から、自分事の学びの様子が伝わってくる。

『保護者・地域が魅力・活力・信頼を実感する、子供のために協働する学校』

- ⑨ 学校通信、保護者会、ホームページ等で、学校の方針、子供の成長の様子や学習成果を伝えている。
- ⑩ 子供たちの成長を実感できる教育活動が行われている。
- ⑪ 学校や教職員には、相談しやすい雰囲気がある。
- ⑫ 学校の教室や廊下、校庭などの環境整備が行き届いている。
- ⑬ 本校の教育に満足している。
- ⑭ 子供たちは、学校に楽しく通っている。

『教職員が力を発揮できる学校』

- ⑮ 教師は、工夫して、わかりやすい授業をしている。